ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/04/10 号(As of 2024/04/09)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	151.98
TKY 9:00AM	151.84	1.0863	164.92	1.2658	0.6605
SYD-NY High	151.94	1.0885	165.15	1.2709	0.6644
SYD-NY Low	151.58	1.0848	164.57	1.2649	0.6598
NY 5:00 PM	151.78	1.0857	164.78	1.2680	0.6628

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,883.67	▲ 9.13	日本2年債	0.2200%	0.0000%
NASDAQ	16,306.64	52.68	日本10年債	0.7800%	0.0000%
S&P	5,209.91	7.52	米国2年債	4.7416%	▲0.0502%
日経平均	39,773.13	426.09	米国5年債	4.3745%	▲0.0550%
TOPIX	2,754.69	26.37	米国10年債	4.3606%	▲0.0602%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,640.00	155.00	独10年債	2.3665%	▲0.0730%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,934.79	▲ 8.68	英10年債	4.0250%	▲0.0590%
DAX	18,076.69	▲ 242.28	豪10年債	4.1990%	0.0040%
ﾊﾝｾﾝ指数	16,828.07	95.22	USDJPY 1M Vol	7.83%	▲0.02%
上海総合	3,048.54	1.48	USDJPY 3M Vol	7.98%	0.02%
NY金	2,362.40	11.40	USDJPY 6M Vol	8.32%	0.02%
WTI	85.23	▲ 1.20	USDJPY 1M 25RR	▲1.42%	Yen Call Over
CRB指数	296.73	▲ 0.75	EURJPY 3M Vol	7.83%	0.02%
ドルインデックス	104.15	0.01	EURJPY 6M Vol	8.23%	▲0.04%

【昨日の指標等】

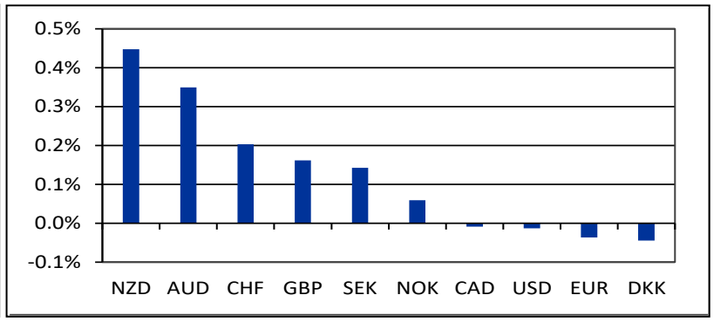
Date	Time		Event		結果	予想
4月9日	09:30	豪	ｳｴｽﾄﾊﾟｯｸ消費者信頼感指数	4月	82.4	-

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月10日	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	3月	0.3%/3.4%	0.4%/3.2%
	21:30	米	CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	3月	0.3%/3.7%	0.4%/3.8%
	21:45	米	ボウマンFRB理事 講演	-	-	-
	23:00	米	卸売売上高(前月比)	2月	0.8%	-1.7%
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	2月	0.5%	0.5%
4月11日	01:45	米	グールズビー・シカゴ連銀総裁 講演	-	-	-
	01:45	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-
	03:00	米	FOMC議事要旨(3月会合分)	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.80	1.0760-1.0920	164.20-165.80

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は151.84ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけて買いが強まるも上昇は151.93まで。節目として意識される152円を前に押し返されると、その後は新規の材料がないことや翌日に米3月CPIの発表を控えた様子見ﾑｰﾄﾞの強まりもあってか、151円台後半で方向感なく推移。狭いﾚﾝｼﾞ内での値動きに終始し、結局151.88ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、151.88ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。円安が継続し、151.94まで上昇。日銀が物価見通しの上方修正を議論、とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝに151.73まで売られるも影響は限定的で結局151.80ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は151円台後半でｽﾀｰﾄ。151.94まで上昇する場面も見られたが、為替介入への警戒感や、米金利が低下する動きを受け伸び悩み、151. 80ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。本日は注目材料が乏しい中、午前中は米金利が一段と低下する動きに追随し、151. 58まで低下。その後は売り一巡となり、151. 70近辺まで小幅買い戻される。午後は米3年債の入札結果が低調だった事から、米金利が小幅戻す展開に下値を支えられ、151. 80近辺まで戻す。その後は注目の米3月CPIの結果発表を明日に控え、積極的な取引は手控えられ、151.78ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.08台半ばでｽﾀｰﾄ。独金利の低下を受け、1.0849まで下落する軟調な値動きが続いたが、その後欧州株が反転上昇する展開や米金利が低下する動きを背景に反発し、1.0861ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米金利が低下幅を拡大する展開を横目に、1.0885まで上伸するも、独金利も低水準で推移する展開が重しとなり、その後1.0860近辺まで反落。午後は特段材料が見当たらない中、1.0850台での小動きが続き、1.0857ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は151円台後半を中心にレンジ推移。海外時間には一時151.94まで上昇する場面も見られたが、日銀が物価見通しの上方修正を議論するとの報道にやや円買いで反応。その後は特段材料がない中で米金利の低下を背景に、151.58まで下落したが、引けにかけては151円台後半まで値を戻しクローズ。
本日は米3月CPIの発表を予定している。発表前は前日からの流れを引き継ぎ、151円台で動意に欠ける展開となりそうだ。鈍化が予想されているCPIでインフレ加速が確認された場合は強力なレジスタンスとして機能していた152円を超える値動きも想定される。レジスタンスを越えた際の急上昇に警戒しておきたいところだが、一方で為替介入の警戒感は強まるため本邦当局の対応にも気を付けたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:南野・西